



**HIKVISION**

**iVMS-4500 (iOS)  
モバイルクライアントソフトウェア**

**ユーザーマニュアル (V4.2)**

UD.6L0202D2114A01

Made in China

COPYRIGHT ©2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

**ALL RIGHTS RESERVED.**

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、Hikvision は明示的にしろ黙示的にしろ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

## 本マニュアルについて

本書は **iVMS-4500 モバイルクライアントソフトウェア** に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト (<http://overseas.hikvision.com/en/>) でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

## 商標に関する確認

**HIKVISION** およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、国や地域に関係なく Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

## 免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、たとえ HIKVISION がこのような損害に関して忠告を受けてい

ても、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

## 目次

第 1 章	緒言	4
1.1	概要	4
1.2	システム要件	4
1.3	本書内の決まり	4
第 2 章	ソフトウェアのインストールとアンインストール	5
2.1	ソフトウェアのインストール	5
2.2	ソフトウェアのアンインストール	5
第 3 章	ソフトウェアの実行	6
3.1	範囲の選択	6
3.2	パスワード保護	6
3.3	インターフェイスに関する緒言	7
第 4 章	デバイス管理	9
4.1	デバイスの追加	9
4.2	デバイスの変更	16
4.3	デバイスの削除	17
第 5 章	ライブビュー	18
第 6 章	遠隔再生	27
第 7 章	アラーム管理	31
第 8 章	画像&ビデオ管理	34
第 9 章	クラウドサービス	37
第 10 章	システム設定	40
付録		44
	バージョン履歴	44

# 第1章 緒言

## 1.1 概要

iOS (Version 7.0 またはそれ以降) を基に iPhone 向けに設計された iVMS-4500 (iOS) モバイルクライアントソフトウェアを使用すると、埋め込み型 DVR、NVR、ネットワークカメラ、ネットワークスピードドーム、エンコーダーからのライブビデオをワイヤレスネットワークを通じて遠隔地からモニターしたり、録画ファイルを再生したり、ローカルに保存したり、写真やビデオを管理したり、アラーム通知やアラーム情報を管理したり、アラーム出力を制御したり、PTZ コントロールを実現することができます。

さらに、iVMS-4500 ソフトウェアは、クラウドサービスに、お使いのクラウドアカウントや追加デバイスを管理する方法も提供します。

お使いの iPhone に本ソフトウェアをインストールすると、Wi-Fi、3G、4G を通じてフロントエンドデバイスにログオンできます。さらに、お使いのデバイスでパブリック IP が利用できない場合には、ダイナミックドメイン名を使用したり、ルーターのパブリック IP にポートをマッピングすることでアクセスすることができます。

### 注意：

- iPhone で Wi-Fi、3G、4G のいずれかへのアクセスサービスが利用できなければなりません。
- 本クライアントソフトウェアの使用中に、ネットワークトラフィック料金が発生することがあります。これについてはご利用の ISP にお尋ねください。

## 1.2 システム要件

iOS 7.0 またはそれ以降 (iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5、iPhone 5C、iPhone 5S、iPhone 6、iPhone 6 Plus の各シリーズの製品を含む)。

## 1.3 本書内の決まり

説明を簡単にするため、以下の章では、「iVMS-4500 (iOS) モバイルクライアントソフトウェア」を「ソフトウェア」、「DVR、NVR、エンコーダー、ネットワークカメラ、ネットワークスピードドーム」を「デバイス」とそれぞれ呼ぶことにします。

## 第2章 ソフトウェアのインストールとアンインストール

### 2.1 ソフトウェアのインストール

手順：

1. アプリストアにログインします。
2. 「iVMS-4500」を入力して、モバイルクライアントソフトウェアを検索します。
3. ダウンロードしてお使いの iPhone にインストールします。
4. ソフトウェアのインストールに成功したら、 をクリックすると、ソフトウェアを起動することができます。

### 2.2 ソフトウェアのアンインストール

プログラムリストで  をクリックし、 に変化するまで押し続けます。  
 をクリックすると、モバイルクライアントソフトウェアがアンインストールされます。

## 第3章 ソフトウェアの実行

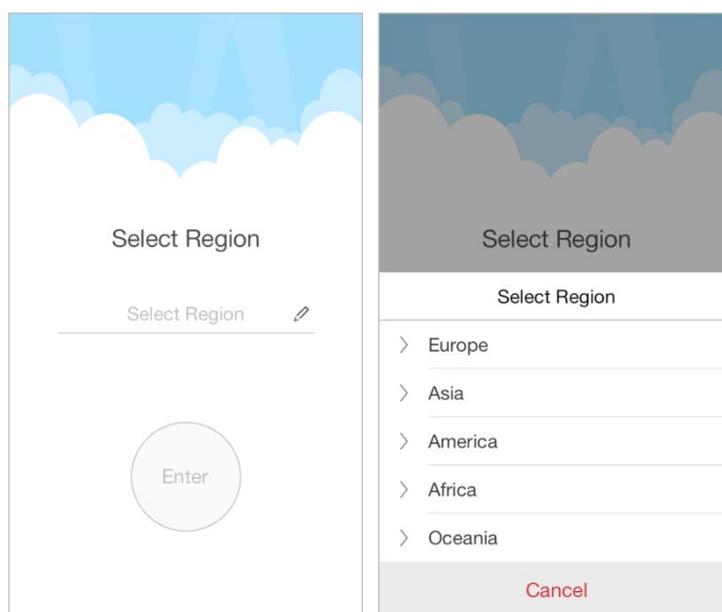
ソフトウェアのインストールに成功したら、 をクリックしてソフトウェアを起動します。

### 3.1 範囲の選択

iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際には、デバイスが配置されている範囲を選択してください。そうでない場合、デバイスのライブビューと再生とアラーム通知が実行できなくなります。

手順：

1. 範囲の選択フィールドをクリックし、該当する大陸から国を選択します。



2. 入力をクリックしてソフトウェアのメインページに入ります。

**注意：**一旦選択した範囲を変更するには、「設定」ページに進んでもう一度範囲を選択してください。

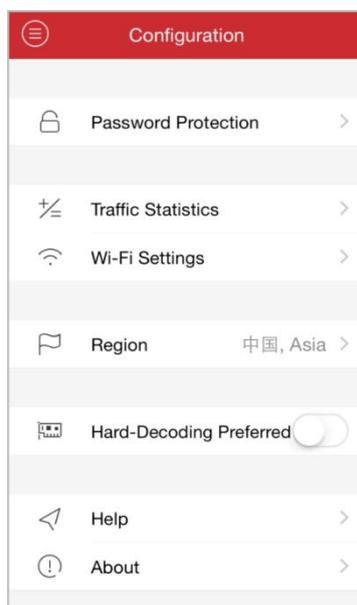
### 3.2 パスワード保護

パスワード保護を有効にすると、パスワードを知っているユーザーのみがソフトウェアにアクセスできます。

タスク 1：パスワード保護を有効化する

**手順 :**

1.  をクリックして**設定**を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。



2. **パスワード保護**をクリックし、**パスワード保護**をオンに切り替えて、パスワード設定インターフェイスに入ります。
3. ソフトウェアにパスワードを入力して確認し、**パスワード保護**をアクティベートします。

退出後に本ソフトウェアを起動したい場合には、まず、パスワードを入力しないとログインできません。

**タスク 2 : パスワードを変更**

**パスワード保護**をクリックしてから**パスワードを変更**をクリックし、対応する情報を入力するとパスワードが変更できます。

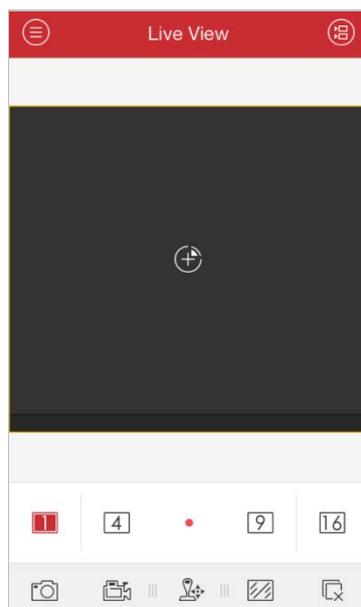
**タスク 3 : パスワード保護を無効にする**

**手順 :**

1. **パスワード保護**をクリックし、**パスワード保護**をオフに切り替えて、パスワード保護を無効にします。
2. パスワードを入力して設定を確認します。

### 3.3 インターフェイスに関する緒言

本ソフトウェアには、ライブビュー、遠隔再生、デバイスの管理、アラームの管理、画像&ビデオ管理、クラウドの管理、設定の7つの主な機能があります。



 をクリックするとメインメニューがアクティベートされます。

#### メインメニューの説明

メニュー	説明
ライブビュー	ライブビュー、PTZ コントロール、ローカル録画、アラーム出力コントロールなど。
遠隔再生	デバイスに保存されている録画ファイルを再生します。
デバイス	デバイスリストの表示、デバイスの追加/削除/変更、デバイス情報の表示など。
アラーム	アラーム通知の有効化、アラーム情報の管理、アラームリンクージ情報の表示。
画像&ビデオ	ローカルビデオファイルと画像の表示と管理。
EZVIZ クラウド P2P	クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサービスに対応するデバイスの管理。
設定	パスワード保護の設定と E メールによるフィードバックの送付。 トラフィック統計の確認、Wi-Fi 設定、範囲の選択。 ライブビューまたは再生のためのハードウェアデコードの有効化 ソフトウェアのバージョン情報、ヘルプファイル、新機能の表示。

## 第4章 デバイス管理

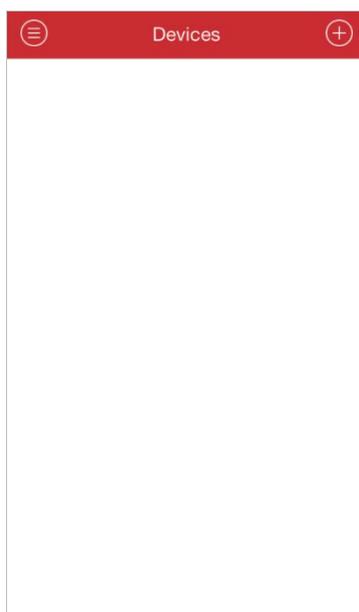
### 4.1 デバイスの追加

まず最初に、ライブビューや再生やデバイス管理など、すべての操作にアクセス可能なデバイスを追加する必要があります。

**注意：** デバイスを追加する前に、デバイスの配置されている範囲を選択してください。そうでない場合、デバイスのライブビューと再生とアラーム通知が実行できなくなります。

手順：

1.  をクリックしてデバイスを選択し、「デバイス管理」インターフェイスに入ります。



2. デバイスは、次の4つの方法で追加できます。

➤ **手動追加**

- 1)  をクリックし**手動追加**を選択します。

**別名：** 希望に応じて、デバイスの名前を編集します。

**登録モード：** HiDDNS、IP/ドメイン、IP サーバーのいずれかの登録モードを選択します。

- HiDDNS：デバイスを HiDDNS サーバーに登録する際には、サーバーに登録されているデバイスドメイン名を入力する必要があります。

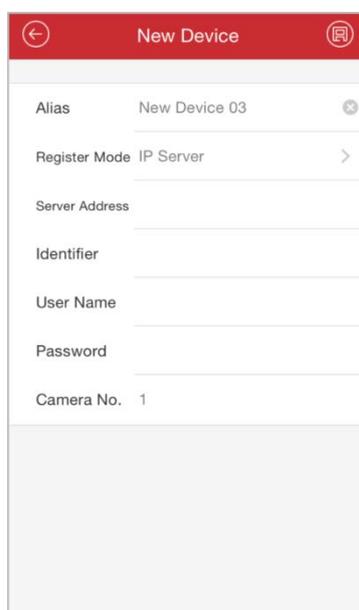
- IP/ドメイン：固定 IP アドレスまたはドメイン名を通じてデバイスにアクセスすることができます。IP アドレスまたはドメインアドレスと、デバイスのポートを編集する必要があります。
- IP サーバー：IP サーバーを通じてデバイスにアクセスすることができます。IP サーバーアドレスとデバイスの識別子 (デバイス名またはデバイスシリアル番号) を設定する必要があります。

ユーザー名：追加デバイスのユーザー名を入力します。

パスワード：追加デバイスのパスワードを入力します。

カメラ番号：デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した後に取得できます。

- 2)  をクリックして設定を確認します。

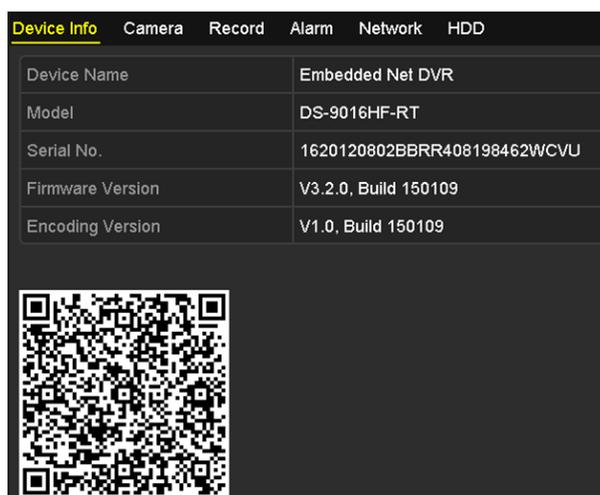


### ➤ QR コードのスキャン

- 1)  をクリックして QR コードのスキャンを選択します。
- 2) お使いの iPhone を使用し QR コードとスキャンフレームを一致させ、追加したいデバイスの QR コードをスキャンします。

**注意：** QR コードは、iVMS-4200 クラアントソフトウェアか、デバイスのローカルメニューから取得できます。

デバイスのローカルメニュー：[メニュー] -> [メンテナンス] -> [デバイス情報]



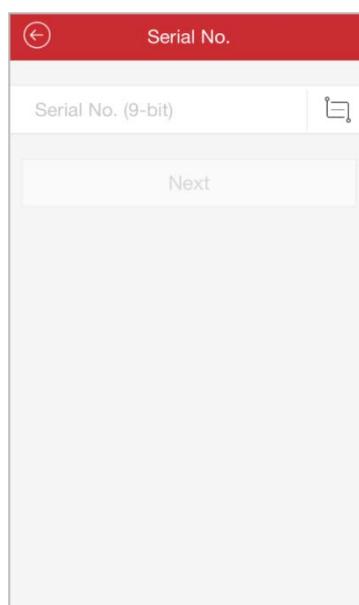
iVMS-4200 (V2.3.0.4 またはそれ以降) : 「デバイス管理」モードで [サーバー] タブを選択し、デバイスをクリックして選択し、QR コードをクリックすると、デバイスの QR コードウィンドウが現れます。



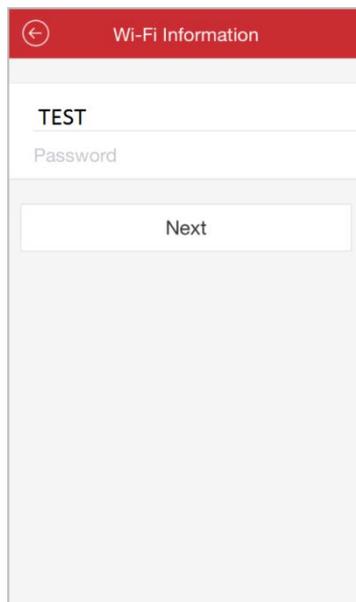
3) 識別されたデバイスを選択して追加をクリックします。

#### ➤ Wi-Fi 設定

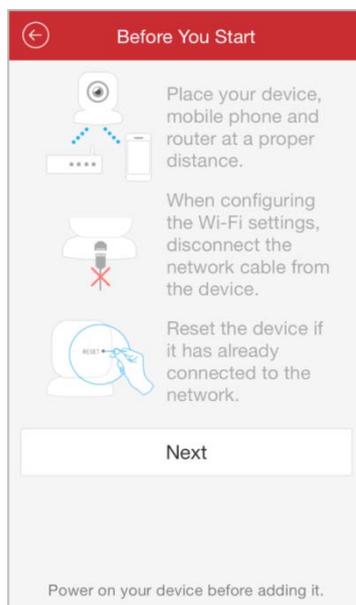
- 1)  をクリックして **Wi-Fi 設定** を選択します。
- 2) デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力するか  をクリックし、QR コードまたはバーコードと携帯電話のスクリーンを一致させ、デバイスラベル上の製造番号をスキャンします。



- 3) 次へをクリックし、iPhone の接続先の Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力します (必要な場合)。



- 4) 次へをクリックし、「開始する前に」ページに入ります。そのページのヒントに従って、追加したいデバイスを正しく配置して設定します。
- 5) 次へをクリックすると、デバイスが Wi-Fi ネットワークへの接続を開始します。



- 6) デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されたら、以下のパラメータを設定します。IP アドレスとポート番号が自動的に取得されます。
- 別名：希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
  - ユーザー名：追加デバイスのユーザー名を入力します。
  - パスワード：追加デバイスのパスワードを入力します。
  - カメラ番号：デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した後に取得できます。

7)  をクリックしてデバイスを追加します。

➤ **オンラインデバイスの追加**

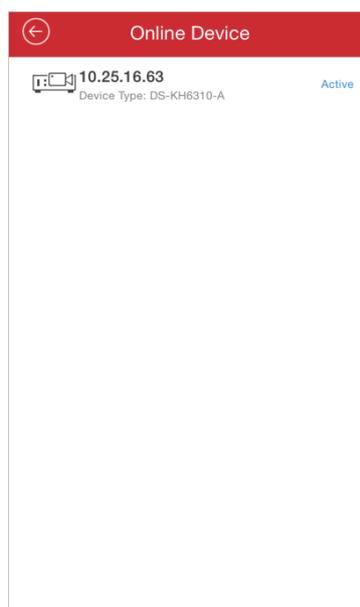
1)  をクリックしオンラインデバイスを選択します。

2) iPhone と同じローカルエリアネットワークにあるオンラインデバイスが表示されます。

リストから、追加したいデバイスを選択します。

**注意：**

- LAN のプライベートマルチキャストプロトコルを介してクライアントソフトウェアによってオンラインネットワークカメラが自動検知されるように、デバイスの「マルチキャストディスバリー」機能が有効になっていることを確認してください。詳細についてはネットワークカメラのユーザーマニュアルをご覧ください。
- 非アクティブなデバイスについては、パスワードを作成しなければそのデバイスを正しく追加することはできません。

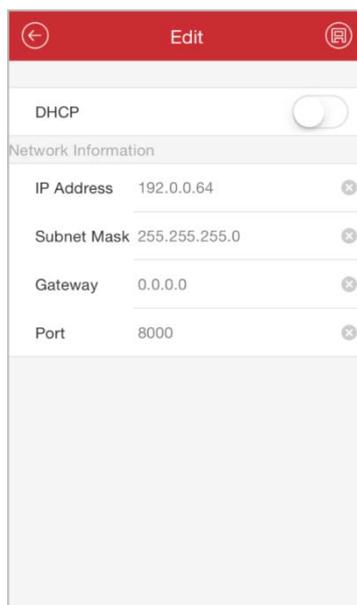


3) デバイスをクリックすると、デバイス情報やネットワーク情報など、オンラインデバイスの詳細が表示されます。



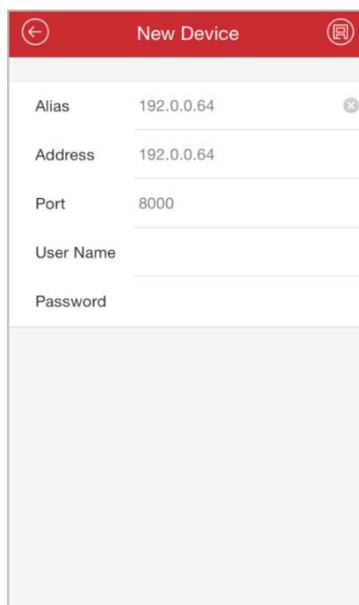
 をクリックしてネットワーク情報が編集できます。

IP アドレスを手動で変更するか **DHCP** のスイッチをオンに設定して、デバイス IP アドレスを、お使いの iPhone と同じサブネットに変更します。



 をクリックし、デバイスの管理者パスワードを入力して、設定を保存します。

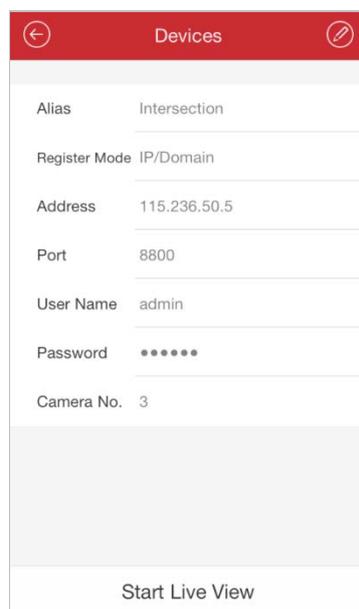
4) **追加**をクリックし、「新規デバイス」インターフェイスを開きます。



- 5) 必要な情報を入力します。
  - 別名：希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
  - ユーザー名：追加デバイスのユーザー名を入力します。
  - パスワード：追加デバイスのパスワードを入力します。
- 6)  をクリックしてデバイスを追加します。

**注意：**

- デバイスの追加が成功すると、ソフトウェアはカメラ情報を取得することができます。
- デバイスは 256 台まで追加できます。
- **ライブビューを開始する**をクリックすると、新たに追加されたデバイスが表示できます。ライブビューの詳細な操作方法については第 5 章をご覧ください。



 をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。「デバイス管理」インターフェイスに、追加された新規デバイスが表示されます。

## パスワードの強度

デバイスの追加が成功すると、ソフトウェアは自動的にパスワードの強度を判断します。強度が弱かったり、簡単に推定されたりクラッキングされる危険なパスワードの場合、パスワードセキュリティが表示されます。この場合、データセキュリティを向上させるために、強力なパスワードを使用するよう強くお勧めします。数字、英字小文字、大文字、特殊文字を含む合計 8~16 文字の強度の高いパスワードを設定してください。

## デバイスのアクティベーション

手動による追加やオンラインデバイスの追加の場合、追加したいデバイスがアクティベートしていなければ、デバイスをアクティベートするよう指示するポップアップウィンドウが開きます。ウィンドウで**確認**をクリックして、デバイスをアクティベートします。

**注意：**デバイスをアクティベートしなければ、正しくアクセスすることはできません。

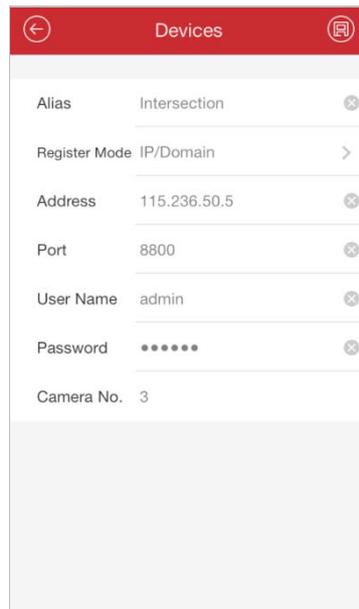
手順：

- 1) デバイスの管理者アカウントにパスワードを作成し、そのパスワードを確認します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。データセキュリティを向上させるために、強力なパスワードを使用するよう強くお勧めします。数字、英字小文字、大文字、特殊文字を含む合計 8~16 文字の強度の高いパスワードを設定してください。
- 2) **確認**をクリックしてデバイスをアクティベートします。

## 4.2 デバイスの変更

手順：

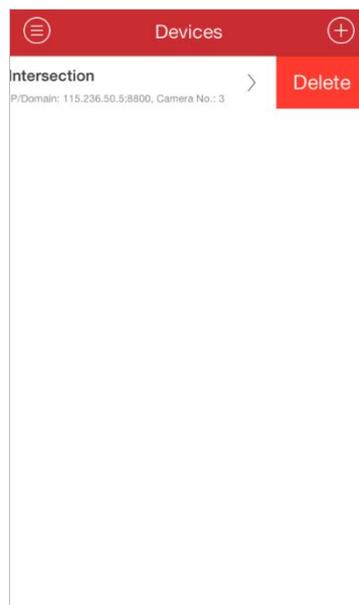
1. 「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、デバイスの項目をクリックすると、そのパラメータが表示されます。
2.  をクリックすると、実際のニーズに応じてデバイスのパラメータを変更することができます。



3.  をクリックして変更を保存します。
4.  をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。

### 4.3 デバイスの削除

「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、項目をスライドすると削除ボタンにアクセスします。削除をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

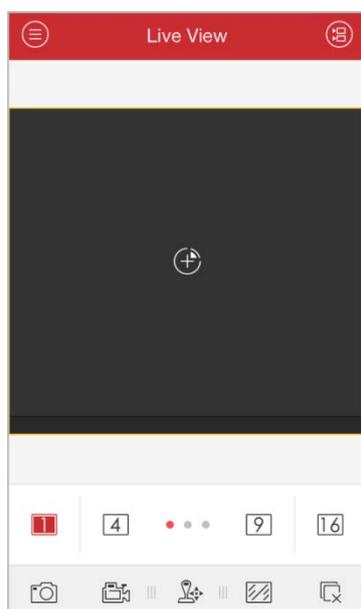


## 第5章 ライブビュー

デバイスが正しく追加されると、そのデバイスからライブビデオを見たり、デバイスのアラーム出力を管理したり、PTZの動きを制御することができます。

**注意:** 追加されたデバイスが、アラーム出力や PTZ コントロールに対応している必要があります。

☰ をクリックしてライブビューを選択し、「ライブビュー」インターフェイスに入ります。デフォルトでは、画面は4分割モードで表示されます。



アイコン	説明
☰	「カメラリスト」インターフェイスに入ります。
1 4 9 16	1/4/9/16 のウィンドウ分割。
+	ライブビューに使用するカメラを選択します。
📷	選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーします。
📹	選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。
👤	PTZ コントロールパネル。
📏	画質パネル。
🛑	全てのライブビューを停止。
🔊	音声コントロール。
🔇	双方向音声。
🔔	アラーム出力コントロールパネル。
🔍	デジタルズーム。

**注意:** アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表示されます。

## ライブビューの開始

手順：

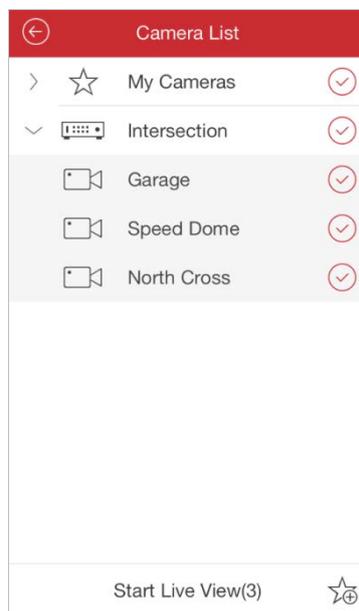
1.  をクリックして「カメラリスト」インターフェイスに入ります。デバイスノードをクリックすると、その下にあるカメラがすべて列記されます。(オプション) また、 をクリックすると「カメラリスト」インターフェイスに入ることができるので、ライブビューに使用するカメラを 1 台選択することができます。

**注意：** デバイスの下にあるカメラの名称は、デバイスから取得されます。

2. デバイス項目の  チェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべて選択されます。また、デバイス項目の  チェックボックスにマークを入れると特定のカメラが選択されます。

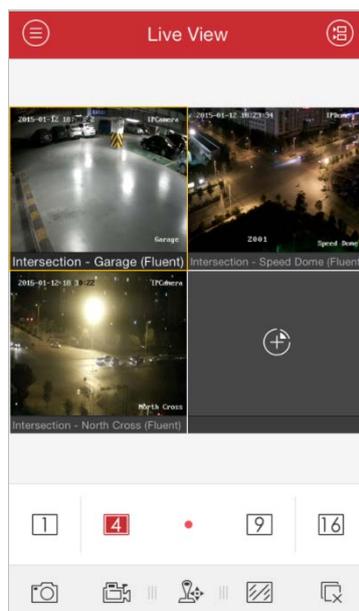
**注意：**

- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスを更新することができます。
- デバイスがチャンネルゼロに対応し、そのように設定されていると、チャンネルゼロのライブビューを選択することができます。
- デバイスの下にチャンネルが 1 つしかない場合は、デバイスのアイコンは  と表示されます。それ以外の場合は、 と表示されます。
- ライブビューでは、同時に 16 台までのカメラが選択できます。



3. ライブビューを開始をクリックすると、選択されたカメラのライブビューが開始します。また、 をクリックすると「ライブビュー」インターフェイスに戻ります。

**注意：** カメラを初めてライブビューに使用する場合、それがサブストリームに対応する場合にはサブストリームでライブビューが再生されます。対応しない場合には、カメラは最後のストリームタイプで再生されます。



## お気に入りの設定

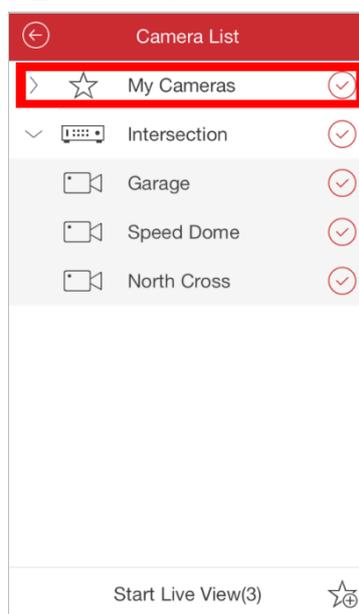
カメラに簡単にアクセスできるように、お気に入りに、頻繁に使用するカメラを追加することができます。

手順：

1. ライブビューを開始の手順 1 と手順 2 を実行して、カメラを選択します。
2. ☆ をクリックすると、「お気に入り」にカメラが追加されます。
3. ポップアップダイアログボックスにお気に入りの名称を記入します。
4. 確認 をクリックして設定を保存します。

**注意：**お気に入りは 32 個まで追加できます。

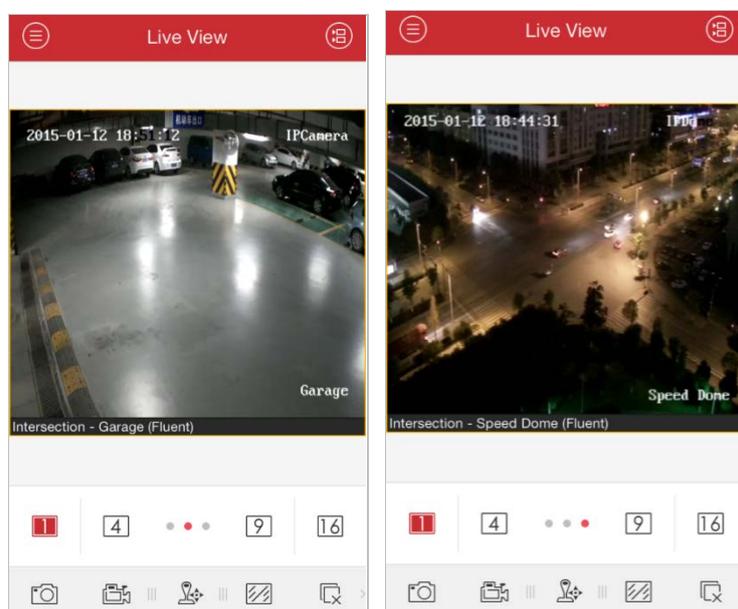
デバイスリストエリアに、追加されたお気に入りが表示されます。



お気に入りを削除したい場合には、それをスライドして削除ボタンにアクセスします。削除をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

## ウィンドウ分割

1/4/9/16 をクリックして、希望のウィンドウ分割に設定します。再生ウィンドウに複数のページがある場合、画面をスライドして次または前の画面に移動することができます。



ウィンドウをドラッグして移動させると、ウィンドウのシーケンスを調整することができます。ライブビューウィンドウをダブルクリックすると1分割モードでカメラが表示され、もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

## 録画とキャプチャー

ライブビューモードでライブビューウィンドウを選択し、 をクリックすると、そのビデオが録画されます。また、 をクリックするとライブビューウィンドウの画像をキャプチャーすることができます。

ビデオや画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイスで表示したり管理することができます (第8章を参照)。

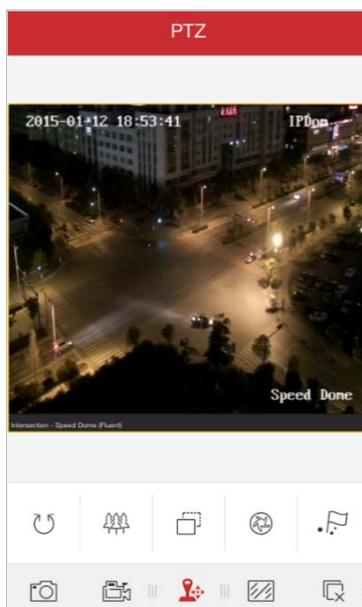
**注意:** iPhone のパフォーマンスに制限があるので、ライブビューでは、同時に4台のカメラを録画しないようお勧めします。

## PTZ コントロール

ライブビューモードで再生ウィンドウを選択し、 をクリックして PTZ コントロールパネルをアクティベートすると、 が  に変更されます。

**注意:** 追加されたデバイスが、PTZ コントロールに対応している必要があります。

ライブビューウィンドウをスライドすると、左右のパンや上下のティルトが行なえます。さらに、ライブビューに親指と人差し指を画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、つまむように指を近づけるとズームアウトすることができます。



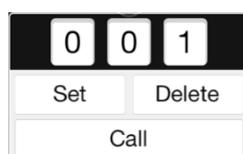
## アイコン 説明

	自動スキャンの開始/停止
	ズームコントロール：  ズーム+/  ズーム-
	フォーカスコントロール：  フォーカス +/  フォーカス -
	アイリスコントロール：  アイリス +/  アイリス -
	プリセットの設定、削除、呼び出し。

## プリセットの設定

手順：

1. PTZ コントロールモードでライブビューウィンドウをスライドすると、希望のシーンにカメラを移動させることができます。
2.  をクリックして以下のダイアログボックスにアクセスします。



3. 番号エリアをスライドしてプリセット番号を設定します。  
**注意：**プリセット番号は1から256の間でなければなりません。
4. **設定**をクリックしてプリセットの設定を終了します。**削除**をクリックするとプリセットが削除されます。

## プリセットの呼び出し

プログラム済みのプリセットをスライドすると、ダイアログボックスでプリセット番号が設定することができます。**呼び出し**をクリックするとそれが呼び出されます。

PTZ コントロールが終了したら、 をクリックすると PTZ コントロールパネルが非表示になります。

## 画質

クリアと滑らかさの2種類の規定画質タイプが提供されています。また、画質をカスタマイズすることもできます。 をクリックし、お使いのネットワークや電話ハードウェアのパフォーマンスに応じて画質を調整します。

### 注意：

- 画質を変更すると、新しい設定により、デバイスのライブビューや録画に影響が出る可能性があります。
- EZVIZ デバイスでは、画質を、クリアか滑らかさに設定できます。

## 画質のカスタマイズ

### 手順：

1. カスタムをクリックすると、下に示した、カスタマイズされたパネルがアクティベートします。

Custom	
> Stream Type	Sub Stream
> Resolution	4CIF(704*576)
> Frame Rate	25/30
> Bitrate	512K
<b>Confirm</b>	

2. 実際のニーズに応じて、ストリームタイプ、解像度、フレームレート、ビットレートなどのパラメータを設定します。
3. **確認**をクリックして設定を保存します。

**注意：**ライブビューエフェクトは、お使いのネットワークや電話のハードウェアのパフォーマンスに関連しています。ライブビューの動きが滑らかでない場合や画面がぼやける場合には、カスタムモードの場合にはカメラの解像度やフレームレートやビットレートを下げ、滑らかさモードの場合には画質を設定してください。

下表に、iPhone5 を使用した H.264 ビデオ圧縮における、種々の解像度のフレームレートとビットレート設定の推奨値が記載されています。

解像度	1 チャンネル	2 チャンネル	3 チャンネル	4 チャンネル	推奨設定
HD1080P	√				フレームレート：6fps。ビットレート：1024Kbps
UXGA	√				フレームレート：10fps。ビットレート：1024Kbps
XVGA	√				フレームレート：15fps。ビットレート：1024Kbps
HD720P	√				フレームレート：20fps。ビットレート：1024Kbps

4CIF	✓				フレームレート : 25fps。ビットレート : 1024Kbps
VGA	✓				フレームレート : 25fps。ビットレート : 512Kbps
CIF	✓	✓	✓		フレームレート : 25fps。ビットレート : 256Kbps
QVGA	✓	✓	✓	✓	フレームレート : 25fps。ビットレート : 128Kbps
QCIF	✓	✓	✓	✓	フレームレート : 25fps。ビットレート : 128Kbps

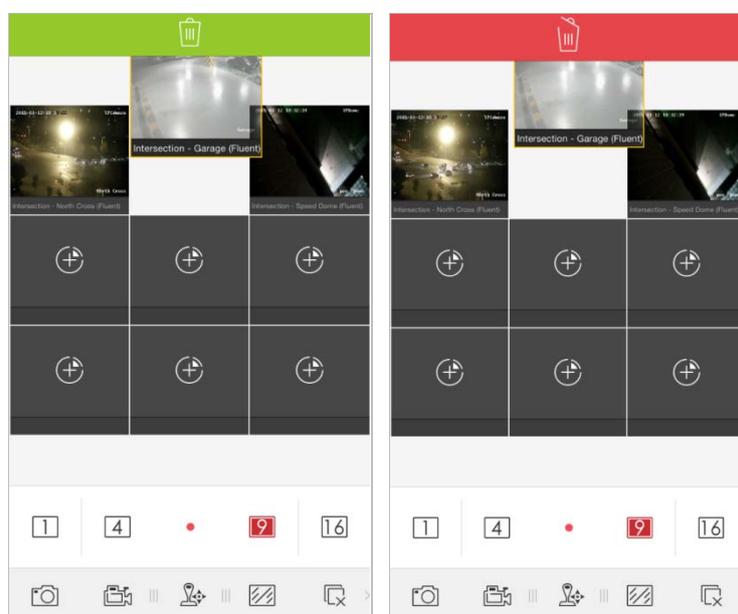
## ライブビューを停止

ライブビューの動作中に  をクリックすると ( に変化する) 全カメラのライブビューを停止することができます。また  をクリックすると、以前のライブビューを再開することができます。

もしくは、次のステップを実行して、特定のカメラでライブビューを停止することができます。

手順：

1. ライブビューウィンドウをクリックして押したままにします。
2. ウィンドウを上向きにドラッグすると、ウィンドウの上方に  が表示されます。
3.  に変化するまでウィンドウを  にドラッグし、ウィンドウを解放します。



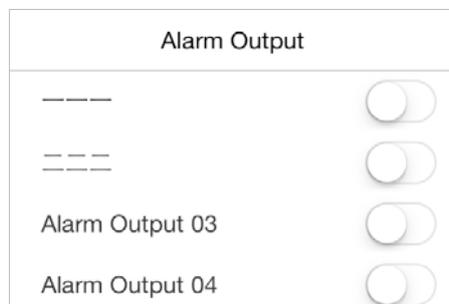
## アラーム出カコントロール

ソフトウェアで、追加デバイスのアラーム出力を制御することができます。

**注意：** そのデバイスがアラーム出力に対応している必要があります。

**手順：**

1. アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンにアクセスできます。
2.  をクリックしてアラーム出力コントロールパネルをアクティベートします。



3. アラーム出力  を選択し、それをクリックして  に設定し、このアラーム出力を有効化します。有効になったアラーム出力  をクリックして  に設定すると無効になります。

**デジタルズーム**

ライブビューの動作中にデジタルズームを実行することができます。

**手順：**

1. クリックして再生中のウィンドウを選択します。
2. アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンにアクセスできます。
3.  をクリックすると、選択されたウィンドウは1分割モードで表示されます。
4. 親指と人差し指をライブビューの画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、つまむように指を近づけるとズームアウトすることができます。また、ライブビュー画面をダブルクリックしてもデジタルズームを実行することができます。

**全画面ライブビュー**

ライブビューの動作中に iPhone を回転すると全画面モードに入ります。

**注意：** iPhone の回転ロックを解放しこの機能を有効にしてください。非表示になった場合、画面に触れるとコントロールパネルをアクティベートすることができます。



アイコン	説明
	1/4/9/16 のウィンドウ分割。
	選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーします。
	選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。
	PTZ コントロールパネル。
	画質パネル。
	全てのライブビューを停止。
	音声コントロール。
	双方向音声。
	アラーム出力コントロールパネル。
	デジタルズーム。

## 第6章 遠隔再生

追加済みデバイスに保存された録画済ビデオファイルを検索して再生することができます。

### 再生の開始

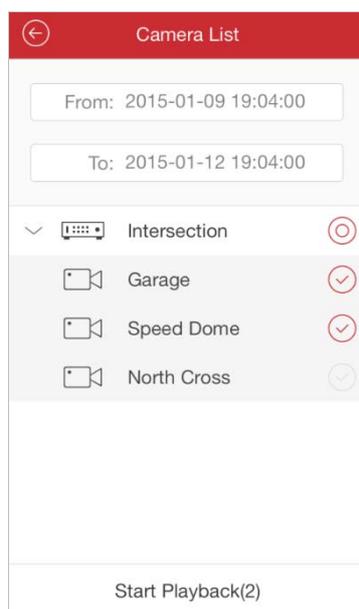
手順：

1.  をクリックして遠隔再生を選択し、「遠隔再生」インターフェイスに入ります。
2.  をクリックすると、追加済みデバイスの一覧が表示されます。  
(オプション) また、 をクリックすると開始時刻と終了時刻を設定して、再生に使用するカメラを1台選択することができます。
3. 開始時刻と終了時刻の各フィールドで開始時刻と終了時刻を設定して、検索条件を設定します。
4. デバイスノードを選択してクリックすると、その下にあるカメラがすべて列記されます。

5. デバイス項目の  チェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべて選択されます。また、デバイス項目の  チェックボックスにマークを入れると特定のカメラが選択されます。

**注意：**

- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスを更新することができます。
- その期間内に録画したカメラのみで再生を行なうことができます。
- 遠隔再生では、同時に4台までのカメラが選択できます。



6. 再生開始をクリックすると再生が開始されます。

**注意：** ウィンドウをドラッグして移動させると、ウィンドウのシーケンスを調整することができます。再生ウィンドウをダブルクリックすると1分割モードでカメラが表示され、もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。



7. タイムラインバーをスライドすると再生時間を調整することができます。



#### アイコン 説明

	再生ウィンドウの画像がキャプチャーされます。
	再生中のビデオを録画することができます。
	再生が一時停止します。
	再生速度が調整できます。
	再生が停止します。
	音声コントロール。
	デジタルズーム。

**注意：** アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表示されます。

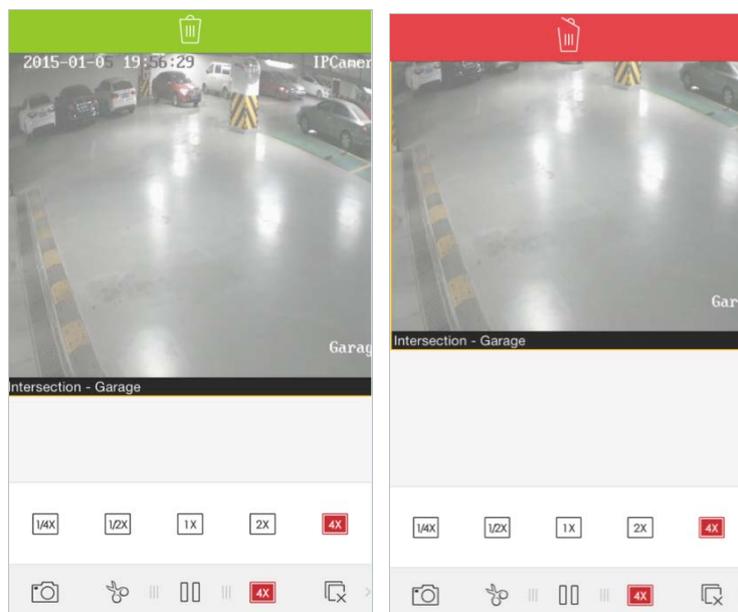
#### 再生を停止

 をクリックすると再生が停止します。  
次のステップを実行しても再生を停止することができます。

手順：

1. 再生ウィンドウをクリックして押したままにします。
2. ウィンドウを上向きにドラッグすると、ウィンドウの上方に  が表示されます。

3.  に変化するまでウィンドウを  にドラッグし、ウィンドウを解放します。



## クリップとキャプチャー

再生中に  をクリックすると再生中のビデオが録画されます。また、 をクリックすると画像がキャプチャーできます。

録画されたビデオやキャプチャー画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイスで表示したり管理することができます (第 8 章を参照)。

## 再生速度

録画ファイルの再生速度は 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍の各速度に設定できます。

手順：

1. クリックして再生中のウィンドウを選択します。
2.  をクリックし、対応する再生速度を選択します。

## デジタルズーム

ビデオファイルの再生中にデジタルズームを実行することができます。

手順：

1. アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンにアクセスできます。
2.  をクリックし、親指と人差し指をビデオ画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、つまむように指を近づけるとズームアウトすることができます。また、ビデオ画面をダブルクリックしてもデジタルズームを実行することができます。

## 全画面再生

再生中に iPhone を回転すると全画面モードに入ります。

**注意:** iPhone の回転ロックを解放しこの機能を有効にしてください。非表示になった場合、画面に触れるとコントロールパネルをアクティベートすることができます。



## アイコン



## 説明

- 再生ビデオの画像がキャプチャーされます。
- 再生中のビデオを録画することができます。
- 再生が一時停止します。
- 再生速度が調整できます。
- 再生が停止します。
- 音声コントロール。
- デジタルズーム。

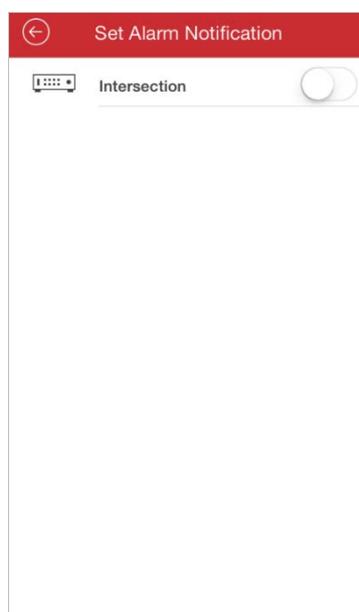
## 第7章 アラーム管理

「アラーム管理」インターフェイスでは、アラーム通知を有効にしたり、アラーム情報を管理したり、アラームにリンクされたビデオを表示することができます。

### アラーム通知

手順：

1.  をクリックしてアラームを選択し、「アラーム管理インターフェイス」に入ります。
2. **アラーム通知の設定**をクリックして、「アラーム通知の通知」インターフェイスに入ります。

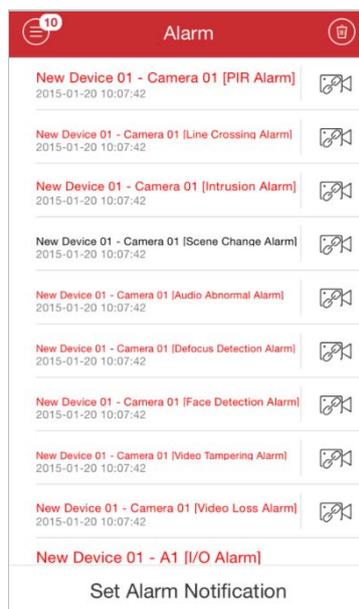


3. デバイスを選択し、 を  に設定すると、そのデバイスのアラーム通知が有効化されます。すると、まず、iPhone にアラーム情報を送信させることができます。  
**注意：** デバイスに警戒機能が装着され、アラーム通知機能に対応している必要があります。
4. 通知を受信すると、画面上部に通知が短時間表示されます。通知を無視することもできますし、それをクリックして直ちに対処することもできます。もしくは、通知にアラーム情報が直接表示されます。

### アラーム情報

手順：

1. 「アラーム管理」インターフェイスで、受信したアラーム情報を直接表示させることができます。



2. いずれかのアラーム情報を選択してその項目をスライドすると、削除ボタンにアクセスできます。削除をクリックすると、選択されたアラーム情報が削除されます。
3.  をクリックすると全てのアラーム情報が消去されます。

**注意：**

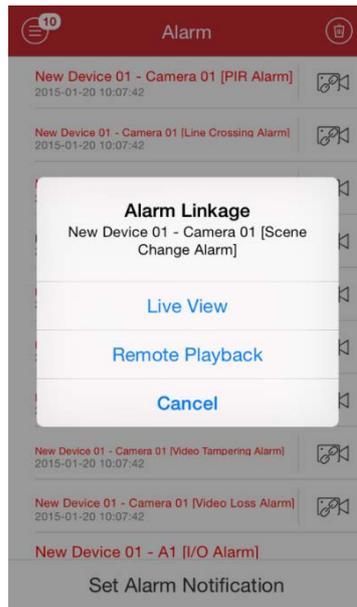
- アラーム情報リストには最大 1000 件のアラーム情報を表示させることができます。
- ソフトウェアに通知できるアラーム機能として、動体検知アラーム、ビデオロスアラーム、ビデオタンパーアラーム、センサーアラーム、ラインクロスアラーム、侵入検知アラーム、顔検知アラーム、シーン変更検知アラーム、音声異常アラーム、ピンぼけアラーム、PIR アラームなどが挙げられます。

## アラームリンクージ

**手順：**

1. 「アラーム管理」インターフェイスで、いずれかのアラーム情報を選択し、 をクリックします。
2. ポップアップメッセージボックスでライブビューか遠隔再生を選択すると、動体検知、ビデオロス、ビデオタンパー、ラインクロス、侵入、顔検知、シーン変更検知、音声異常、ピンぼけ検知、PIR の各アラームを発生するカメラのライブビューや録画ファイルが表示できます。

**注意：** 関連録画ファイルは、アラーム発生 の 30 秒前からアラーム発生後の 90 秒後まで再生されます。例：動体検知アラームが 11 時 30 分 00 秒に発生した場合、録画ファイルは 11 時 29 分 30 秒から 11 時 31 分 30 秒まで再生されます。



## 第8章 画像&ビデオ管理

「画像&ビデオ管理」インターフェイスでは、ライブビューと遠隔再生インターフェイスで手動で録画したりキャプチャーしたローカルビデオファイルと画像の表示や管理が行なえます。お使いの iPhone の写真アルバムに画像をエクスポートしたり、Eメールに画像やビデオを送信することができます。

画像やビデオは日付順に表示されます。

写真アルバムに画像をエクスポートするには、次の手順に従ってください。

手順：

1.  をクリックし、エクスポートしたい画像を選択します。
2.  をクリックし  を選択します。
3. **確認** をクリックすると、選択された画像が写真アルバムにエクスポートされます。

Eメールに画像やビデオを送信するには、次の手順に従ってください。

手順：

1.  をクリックし、送信したい画像やビデオを選択します。
2.  をクリックし  を選択します。
3. ポップアップEメールインターフェイスで、受信者のアカウントとEメールの件名を編集し、**送信** をクリックすると、指定のEメールアドレスに画像やビデオが送信されます。

画像やビデオを一括削除するには、次の手順に従ってください。

手順：

1.  をクリックし、削除したい画像やビデオを選択します。
2.  をクリックすると、選択したファイルが削除されます。もしくは、 をクリックしてキャンセルします。

### 画像の管理

手順：

1.  をクリックして**画像&ビデオ**を選択し、「画像&ビデオ管理」インターフェイスに入ります。
2. 画像をクリックすると、全画面表示になります。削除したい場合には  をクリックします。画像を写真アルバムにエクスポートしたりEメールに送信する場合には、 をクリックします。



3. 親指と人差し指を画像の上に乗せ、指を広げるとズームインし、つまむように指を近づけるとズームアウトすることができます。また、画像をダブルクリックしてもデジタルズームを実行することができます。ズームインモードでスライドすると、画像を移動させることができます。
4.  をクリックすると、「画像&ビデオ管理」インターフェイスに戻ります。

## ビデオの管理

手順：

1. 「画像&ビデオ管理」インターフェイスでビデオをクリックすると、全画面表示になります。削除したい場合には  をクリックします。Eメールに送信する場合には、 をクリックします。

**注意：**録画したビデオを写真アルバムにエクスポートする操作には対応していません。



2.  をクリックすると再生されます。タイムラインバーをスライドすると再生時間を調整することができます。

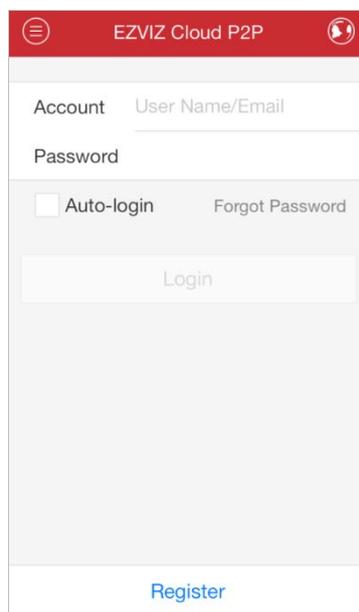
-  再生ビデオの画像をキャプチャーします。
-  再生が一時停止します。
-  音声コントロール。



3. iPhone を回転して全画面モードにすることもできます。  
**注意** : iPhone の回転ロックを解放しこの機能を有効にしてください。

## 第9章 クラウドサービス

本ソフトウェアは、クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサービスを支援するデバイスの管理も支援します。



### アカウントの登録

クラウドアカウントをお持ちでない場合には登録することができます。

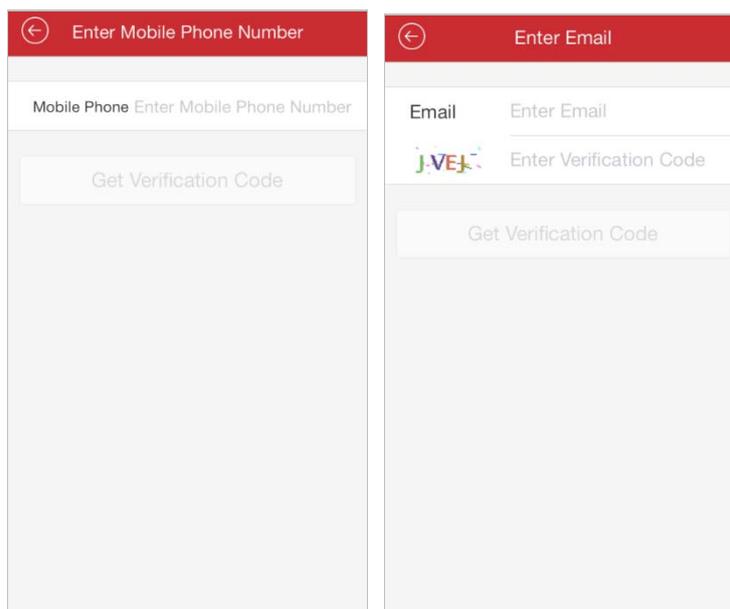
手順：

1.  をクリックして **EZVIZ Cloud P2P** を選択し、「クラウド」インターフェイスに入ります。
2. インターフェイスの右上で  か  をクリックし、サービスエリアを選択します。

**注意：** お住まいの場所に応じてサービスエリアを選択してください。

3. **登録** をクリックして、アカウント登録インターフェイスに入ります。  
「中国服务区」を選択する場合：携帯電話番号を入力し、**認証コードを取得** をクリックして、携帯電話で受信した認証コードを入力します。  
「海外」を選択する場合：Eメールアカウントを入力し、認証コードを撮影します。**認証コードを取得** をクリックして、携帯電話で受信した認証コードを入力します。

**注意：** 認証コードの写真がはっきりしない場合には、**更新** をクリックすると新規画像を取得することができます。



4. クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを設定すると、登録が完了します。

## ログイン

手順：

1. インターフェイスの右上で  か  をクリックし、サービスエリアを選択します。
2. ユーザー名かEメールアカウントか携帯電話番号を入力し、パスワードを入力してログインをクリックします。

**注意：**

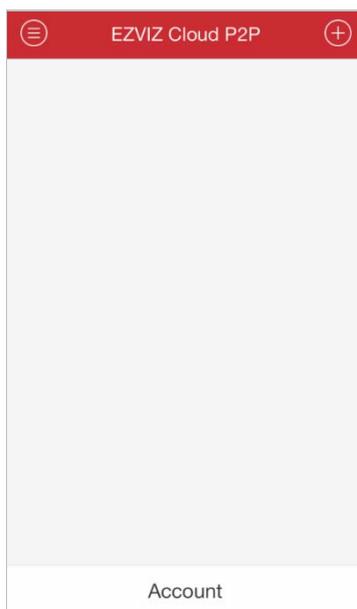
- 自動ログインチェックボックスにマークを入れると、クラウドに、ユーザー名とパスワードログが自動的に記憶されます。
- パスワードを忘れたら、パスワードを忘れましたをクリックすると、アカウントが検証されパスワードがリセットされます。

## デバイス管理

1.  をクリックし、お使いの携帯電話を使用し QR コードとスキャンフレームを一致させ、デバイスラベル上のシリアル番号をスキャンします。もしくは、 をクリックし、デバイスのシリアル番号 (9桁) を入力し、検索をクリックしてデバイスを検索することもできます。

**注意：**

- クラウドサービスに対応するデバイスのみが追加できます。
- デバイスは、1つのクラウドアカウントにしか追加できません。



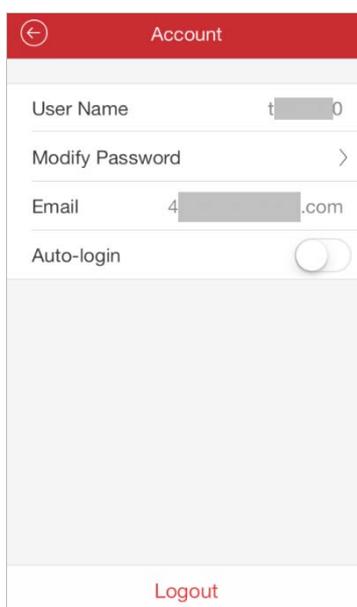
2. 正しく追加されたデバイスはデバイス管理インターフェイスに列記され、**ライブビューを開始**をクリックするとそのデバイスでライブビューを表示することができます。
3. 「デバイス」インターフェイスでデバイスを選択し、項目をスライドし**削除**ボタンにアクセスします。**削除**をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

## アカウント管理

アカウントをクリックすると、クラウドアカウントが管理できます。  
パスワードを変更をクリックするとパスワードが変更できます。

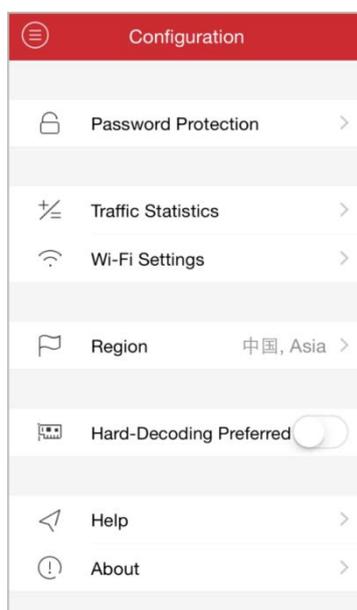
を  に設定すると自動ログインが有効化されます。

クラウドからログアウトするには**ログアウト**をクリックします。



## 第 10 章 システム設定

「設定」インターフェイスでは、パスワード保護の設定と E メールによるフィードバックの送信、トラフィック統計の確認、Wi-Fi の設定、範囲の選択、ハードウェアデコードの有効化、ソフトウェアのバージョン情報とヘルプファイルと新機能の表示の各機能が実行できます。

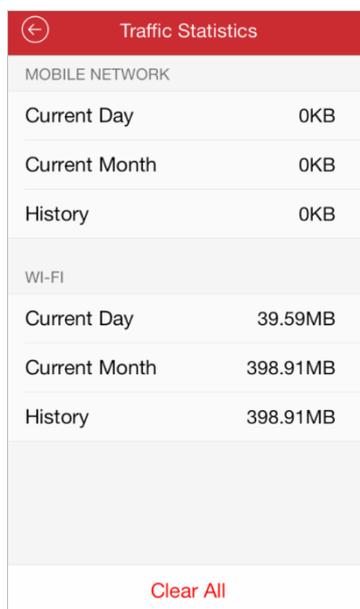


### トラフィック統計の確認

ライブビューや遠隔再生の間に消費されるネットワークトラフィックを確認することができます。携帯ネットワークトラフィックと Wi-Fi ネットワークトラフィックを別々に確認することができます。

手順：

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。



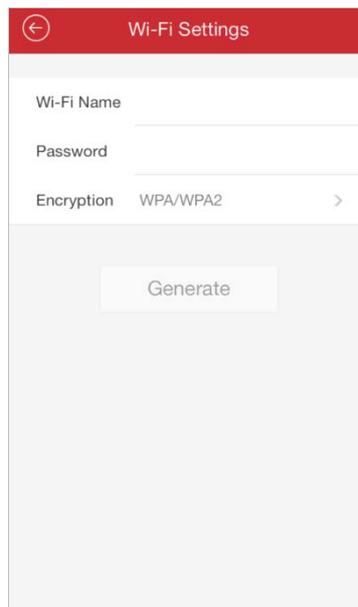
2. **トラフィック統計**をクリックして、「トラフィック統計」インターフェイスに入ります。記録されたトラフィックデータのリストが表示されます。  
**携帯ネットワーク**：ライブビューや遠隔再生の間に消費される携帯データが表示されます。  
**Wi-Fi**：ライブビューや遠隔再生の間に消費される Wi-Fi データが表示されます。  
**今日**：今日消費されたトラフィックデータが表示されます。  
**今月**：今月消費されたトラフィックデータが表示されます。  
**履歴**：本ソフトウェアを使い始めてから消費されたトラフィックデータが表示されます。
3. (オプション) **すべてクリア**をクリックするとデータが空になります。

## Wi-Fi 設定

本ソフトウェアは Wi-Fi ネットワークの QR コードを生成する機能を提供します。ネットワークカメラは QR コードをスキャンするので簡単に Wi-Fi ネットワークに接続することができます。

手順：

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **Wi-Fi 設定**をクリックして「Wi-Fi 設定」インターフェイスに入ります。



3. Wi-Fi 名 (SSID と呼ばれる) と Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力し、暗号化タイプ (ルーターの設定と同じ) を選択し、**生成**をクリックして Wi-Fi ネットワークの QR コードを生成します。  
**注意**：暗号化タイプとしてなしを選択した場合、Wi-Fi のパスワードは不要です。
4. QR コードをスキャンすると、このネットワークにネットワークカメラを接続することができます。  
**注意**：
  - ネットワークカメラがこの機能に対応している必要があります。
  - カメラ操作の詳細についてはネットワークカメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

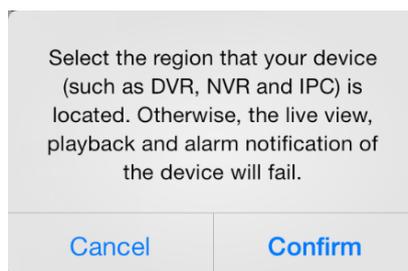
## 範囲

デバイスが配置されている範囲を変更することができます。

手順：

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **範囲**をクリックして、「範囲」インターフェイスに入ります。
3. 該当する大陸から国を選択します。

**注意：**範囲を選択した後にヒントボックスが現れます。デバイスが配置されている範囲を選択したことを確認し、**確認**をクリックします。



## ハードウェアデコード

ライブビューや再生時に HD ビデオを再生する場合、ハードウェアデコードによって、デコードパフォーマンスを改善して CPU 使用率を下げるすることができます。

優先ハードデコードの  を切り替えて  に設定すると、ライブビューや再生用のハードウェアによるデコードが可能になります。

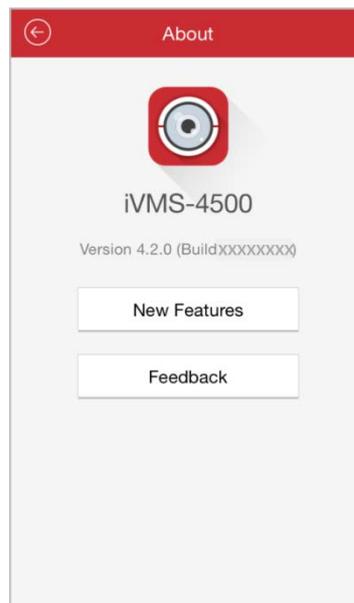
**注意：**

- ハードウェアデコードには、iOS 8.0 またはそれ以降が必要です。それがインストールされていない場合はこのオプションは表示されません。
- ハードウェアデコードは、704x576、704x480、640x480、1024x768、1280x720、1280x960、1920x1080、2048x1536、2560x1920 の各解像度に対応します。その他の解像度では、ソフトウェアデコードに切り替わります。

## 新機能とヘルプ

手順：

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **詳細**をクリックして、「詳細」インターフェイスに入ります。
3. 「詳細」インターフェイスで**新機能**をクリックすると、本ソフトウェアの新機能が表示されます。



4. 「設定」インターフェイスでヘルプをクリックすると「ヘルプ」インターフェイスに入ります。本ソフトウェアのヘルプが表示されます。

## フィードバック

本ソフトウェアの使用中に問題に遭遇した場合や、ご提案がありましたら、「詳細」インターフェイスのフィードバックをクリックしてEメールを送信してください。当社の技術エンジニアができる限りすみやかに問題に対応いたします。

## 付録

### バージョン履歴

#### V4.2

##### 追加新機能：

1. iPhone と同じローカルエリアネットワーク内にあるオンラインデバイスを検索して追加したり、そのネットワークパラメータを編集することができます。
2. ライブビューと再生のためのハードウェアデコードの提供。
3. ライブビュー中に、ネットワークや携帯電話ハードウェアのパフォーマンスに応じて、EZVIZ デバイスのクリアや滑らかさなどの画質タイプの調整を行なうことができます。

#### V4.1

##### 追加新機能：

1. iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際の範囲の選択。設定ページで範囲を選択することもできます。
2. デバイスの Wi-Fi ネットワークを設定したり、デバイスシリアル番号を追加またはスキャンして、自動的に追加することができます。

#### V4.0

##### 追加新機能：

1. 新たな体験や便利な操作を提供する新設計の UI。
2. ライブビューで 1、4、9、16 のウィンドウ分割モードを提供し、同時に 16 台までのカメラが表示できます。
3. 録画ファイルの遠隔再生でウィンドウの 4 分割が行なえ、同時に 4 台までのカメラで録画ファイルが再生できます。
4. 画質調整が、クリア、滑らかさ、カスタムに簡素化されました。
5. 遠隔再生のスピードが 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍に設定できます。希望の再生速度が選択できます。
6. ウィンドウ分割モード中に、ウィンドウをドラッグして移動させると、ウィンドウの順序を調整することができます。
7. デバイスの QR コードをスキャンしてデバイスが追加できます。QR コードは、iVMS-4200 クラウドソフトウェアか、デバイスのローカルメニューから取得できます。
8. 安全性の問題を回避するため、ソフトウェアには Wi-Fi 情報が保存されません。

### V3.4

#### 追加新機能：

1. ライブビューや再生中にキャプチャーした画像や録画したビデオは、Eメールに送信することができます。
2. ラインクロス、侵入、顔検知、シーン変更検知、音声異常、ピンぼけ検知、PIR アラームもソフトウェアに通知できます。
3. クラウドアカウントやクラウドデバイスを管理するクラウドサービスが提供されます。
4. ライブビューや再生中に、消費されたネットワークトラフィック統計を確認することができます。
5. Wi-Fi ネットワークの QR コードの生成に対応します。

### V3.3

#### 追加新機能：

1. ライブビューや再生中にキャプチャーした画像を、写真アルバムに直接エクスポートできます。
2. 多言語 GUI を提供します。追加された言語には、エストニア語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語、繁体中文、トルコ語があります。

### V3.2

#### 追加新機能：

1. アラームアラーム通知と情報管理に対応。
2. 画像とビデオのローカルストレージと管理。
3. ライブビューと再生モードにおけるローカル録画に対応。
4. ダブルクリックすると、ライブビュー、遠隔再生、キャプチャー画像のデジタルズームが実行できます。
5. ライブビュー、遠隔再生、ローカル再生のオートロックが無効にできます。
6. 停止後に、選択された全部のカメラで、以前のライブビューを回復することができます。
7. ライブビューや遠隔再生モードでカメラリストを下向きにスライドすると、デバイス状態が更新されます。
8. 背景から切り替えた後に遠隔再生が回復されます。
9. 新しいデバイスを追加することができるように、以前の登録モードが記憶されます。
10. HiDDNS 登録モードに、シリアル番号スキャン機能が追加されました。
11. メインメニューボタン名の表示。
12. ネットワークが異常になると「ネットワーク接続を確認してください。」メッセージが現れるなど、設定や異常状態に関するヒントが追加されました。

### **V 3.1**

#### **追加新機能：**

1. 音声コントロールの対応。
2. Eメールフィードバックの対応。
3. デジタルズームの対応。

### **V 3.0**

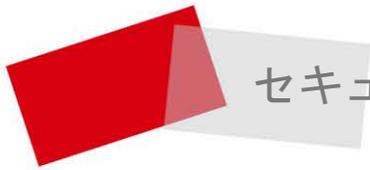
#### **追加新機能：**

1. 新設計の GUI によって操作が便利になった。
2. iPhone5 に対応。
3. 16 チャンネルまでの同期ライブビュー。
4. ページごとのライブビューへの対応。
5. チャンネルゼロのライブ表示への対応。
6. 再生パフォーマンスの最適化。
7. ソフトウェアのクイック操作ガイドと主要機能の表示。
8. 新規バージョンを自動的に確認。
9. ライブビューモード中の画質設定。
10. アラーム出力コントロール。
11. パスワード保護。

#### **変更点：**

1. PTZ コントロールの最適化。
2. 「アラーム管理」設定の削除。
3. チャンネル設定の削除。
4. 最初のログイン時の登録キャンセル。

0402001050810



セキュリティ専門家の第一選択

**Made in China**